

IP



防塵試験例



防水試験例

第一特性数字

数字	器具に対する保護の内容 外来固形物の侵入に対して	人体に対する保護の内容 危険な部分への接近に対して
0	無保護	無保護
1	直径50mm以上の 外来固形物の侵入 に対して保護 されている。	拳が危険な部分へ 接近しないよう保護 されている。 (銅球 直径50mm)
2	直径12.5mm以上の 外来固形物の侵入 に対して保護 されている。	指での危険な部分 への接近に対して 保護されている。 (関節付試験指 直径12mm 長さ80mm)
3	直径2.5mm以上の 外来固形物の侵入 に対して保護 されている。	工具での危険な部分 への接近に対して 保護されている。 (試験棒 直径2.5mm 長さ100mm)
4	直径1.0mm以上の 外来固形物の侵入 に対して保護 されている。	
※1 5	防じん形：粉塵が 内部に侵入する事 を防止する。若干 の粉塵の侵入があ っても正常な運転 を阻害しない。	針金での危険な部分 への接近に対して 保護されている。 (針金 直径1.0mm 長さ100mm)
6	耐じん形：粉塵 が内部に侵入し ない。	
X	規定しない	

第二特性数字

数字	器具に対する保護の内容 水の浸入に対して
0	無保護
1	鉛直に滴下する水 に対して保護されて いる。
2	15度以内で傾斜し ても垂直に滴下す る水に対して保護 されている。
3	鉛直から60度以内 の噴霧水による水 によって有害な影 響を受けない。
4	いかなる方向から の飛沫によっても 有害な影響を受け ない。
5	いかなる方向から の水の直接噴流によ っても有害な影 響を受けない。
6	いかなる方向から の暴噴流の水によ っても有害な影 響を受けない。
7	規定の圧力及び時 間で水中に浸漬し ても有害な影響を 受けない。
8	IPX7より厳しい条 件下で継続的に水 中に沈めても有害 な影響を受けない。
X	規定しない

付加特性文字(オプション)※2

文字	人体に対する保護の内容 危険な部分への接近に対して
A	拳が危険な部分へ 接近しないよう保護 されている。 (銅球 直径80mm)
B	指での危険な部分 への接近に対して 保護されている。 (関節付試験指 直径12mm 長さ80mm)
C	工具での危険な部分 への接近に対して 保護されている。 (試験棒 直径2.5mm 長さ100mm)
D	針金での危険な部分 への接近に対して 保護されている。 (針金 直径1.0mm 長さ100mm)

※2 付加特性文字
危険箇所に対する人体の保護が第一特性数字で表す保護構造より程度が高い場合に表します。

例

IP44

人体及び固形物に対する保護等級が4で、防水に対する保護等級も4を表します。

IP23D

人体及び固形物に対する保護等級が2で、防水に対する保護等級が3、人体の危険な部分への接近に対する保護等級がDを表しています。

IP55

人体及び固形物に対する保護等級が5で、防水に対する保護等級も5であることを表します。

※1 第一特性数字5は以下の2つのカテゴリーに分かれています。
カテゴリー1：内部が負圧の状態で粉塵の侵入を防止。
カテゴリー2：内部が負圧にならない状態で粉塵の侵入を防止。
キャビネットではカテゴリー2を採用してIP表示を行っています。